

エンツ・ウイルヘルムセン氏

どうしたら協力と 団結が得られるか

エンツ・ウイルヘルムセン

(フルウエイ労働評論家)

現代はおそろしい時代である。それは食糧不足のために飢餓線上をさまよっている人たちが、戦争の為に血を流している人たちばかりをさして言っているのではない。犯罪と暴力に悩む西欧の豊かな社会についても同じことがいえるのではないか。争いを通して折角賃上げで獲得した給料もインフレで価値が下がるし、失業の脅威が多くなるとを脅やかしていることも事実である。

「ソビエト・マルキシズム」一九五八年出版、ニューヨーク、コロンビア大学出版社 版局一五八頁。

「ソビエト・マルキシズム」一九五八年出版、ニューヨーク、コロンビア大学出版社 版局一五八頁。

その分裂によることが多い。同じ原料を生産する国々が、目先の利益の為に共同戦線がかけ声倒れになるのはよくあることである。

共産圏内でも、一枚岩の団結が実際には成立していない。ソ連は自国の農作物不作の時に、自由経済圏から何百万トンの穀物を買付けしているが、第三世界の国々の必要に対しては無頓着であった。一九七二年には、買った時よりも高価でインドに売ろうとさえした。また一九六〇年、中国が経済的に苦勞をしている時、ソ連は技術者を含めて援助をやめてしまった。

現在、世界の勢力は米ソ中の均衡によって保たれているといえる。そして中ソは資本主義の牙城であるアメリカの終焉を望むという点で一致しているのだ

こうした広範な社会的、国際的問題を解決する為には、どうしても協力が必要である。従って、個人と個人の間で、また国家と国家の間で協力と団結を望む声はその度合が強くなってきている。「今日のような国際社会で、自国だけのことを考える政策は、個人が自分のことだけ

しかし、理屈と現実の行動は必ずしも一致しない。石油ショックの時、どこの国もみな自国のことばかり考えて、他国の犠牲すら省みようとしなかったのは記憶に新しい。発展途上国相手の先進国の貿易政策も往々にしてこの例に洩れない。第三世界の指導者は、先進工業国がその経済力を利用して原料を低い価格で買い上げるといつて批判している。富んだ国は口々に援助を唱えながらその反対を行うことが多い。

しかし、国家的利己主義は西欧にだけ見られるものではない。第三世界の発展を阻外するのは

ト・マルキシズムは、国家主義とマルクシズムの唱える国際主義との矛盾を主義の上で、戦略的にも克服し得ていない」

マルクゼーゼという。「ソビエト・マルキシズムは、国家主義とマルクシズムの唱える国際主義との矛盾を主義の上で、戦略的にも克服し得ていない」

現在、世界の勢力は米ソ中の均衡によって保たれているといえる。そして中ソは資本主義の牙城であるアメリカの終焉を望むという点で一致しているのだ

現在、世界の勢力は米ソ中の均衡によって保たれているといえる。そして中ソは資本主義の牙城であるアメリカの終焉を望むという点で一致しているのだ

現在、世界の勢力は米ソ中の均衡によって保たれているといえる。そして中ソは資本主義の牙城であるアメリカの終焉を望むという点で一致しているのだ

が、中ソ勢力による二極化が実現後の答はまだ出ていない。

ハイデルベルヒ大学のギョルヒ・ビヒト教授は最近こう言っている。「主権国家の基盤に深く食い込んでいく複雑怪奇な先入観が解消されない限り、地球規模で合理的な企画を実行する機会はないだろう」

われわれは兎角、指導者の誤りを指摘するが、指導者は大抵において国民の性格を代表しているのではないだろうか。指導者は一般国民が持っている希望、おそれ、矛盾等と無関係ではないられないし、場合によってはそのおかげで地位につくこともあるのだ。大小様ざまの団体の幹部はその団体の性格を身につけるものである。一般のわれわれが自分の利益の追究に血道をあげて争っているが、指導者には団結の手段になれと望んでも無意味である。

カーター大統領は選挙中に、「アメリカ国民のように理想的で、憐み深く、愛情、豊かな政府を作り得たと想像して見て下さい。素晴らしいではありませんか」と演説したということだが、こんな大それた期待は誰にも出来ることではない。

(一九七六年三月三日ストックホルム日報「紙」エクスプレス」による。)

国家主義は否定できない強い感情であるから、同国人同志の団結は簡単なように思えるが、ノルウェイのような人口の少ない遠隔の地でも中々困難なことが実証されている。北極圏内の人と南部の比較的気候の良いところに住む人たちの間に不信感と責任のなすり合いが行われていることがある。北部ノルウェイの死活問題が、約二千キロも離れたオスロ市で決定されるが、遠方の保護者から指示を受けることは受入れにくいものだ。

国家間が相互に依存し合う度合が増す一方、少数民族の帰属意識が激しくなっているのは今日の特徴であって一見矛盾している様だが、実は補足関係にあるといえる。新しい感覚で、人と人との融和が生まれなければならない時にきている。われわれは遠隔の見ず知らずの人に思いやりを持つと同時に身近の人を労わることを忘れてはならない。その秘訣を学ぶことが今日の課題だ。(本文は筆者の著書「人と機構」からの抜粋)

MRAアジア太平洋地域センター主催の現代に見あった「効果的な生き方」と題するセミナーは今年の三月からオーストラリアのアーマを中心に展開され、日本を始めアジア各国の青年男女がこれに参加した。第二回セミナーは七月から始められ五カ国から十五名がこれに加っているが、その青年たちは次のような確信を伝えてきている。

私たちは効果的な生き方を学んだ

◇今までも新聞は読んだ。だが、他国のことは自分に関係のない遠い処のこととして興味も覚えなかった。外国の友だちと暮してみると、始めて「世界家族」ということを身近かに感じ出した。生まれ乍らに意識するともなく身につけている傲慢さを捨てる必要も知った。知らず知らずの内に作り出していた人との溝を自分の心の中で癒すことを学んだ。

◇ここへ来て「いたわりの心」の大切さを学びました。そして真のいたわり(ケア)は頭と心を手を使わなければならないことを知りました。口でだけやさ

しいことを言っても、手を働かせなければ駄目だし、いくら手を動かしても心に喜びが無ければ、役に立たないのです。

知識が無ければ、他の国のことをケアすることも出来ません。日本の青年は、無関心で、無気力で、無目的だとよく言われます。私もその点、決して人語におちませんでした。他の国の人たちと共に学び、共に働いている間に、日本のことを考えるようになりました。―女は家にいれればいいと一般に思われている日本の女性としては革命的なことかも知れない―

広い視野を持って、自分の為でなく人の為に生きること、そして喜びと正直な心でケアすること、これが私の考える現代にふさわしい効果的な生き方だと思えます。(中島めぐみ)

◇人との壁を取り去る最良の方法は「謝まる」ことだ。ニュージーランドの将来は、マオリ(原住民)とパケハ(原住民と白人の混血)と白人がどれだけいっしょになって共通の未来を背負うかで定まるのだ。

(アイダ・スミス)

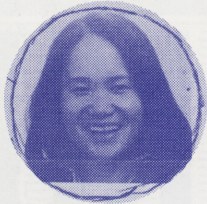
Jim Ramsay, M.L.A., Parliamentary Secretary to the Victorian Cabinet, speaks to the course



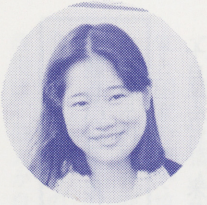
◇ここへ来た時、私の心は病んでいた。何故かという、田舎にいた時、近所の鶏を殺したり、働いているパン屋で盗んだり、赤十字のお店からお金をとったりしていたからだ。正直になって謝ったおかげで心はすっきり癒された。田舎へかえってから弁済しようと思っている。個人としても、国としても、間違っていることに正直に直面する決心をした。望霊の力が心を動かす時、個人も国も新しい世界の為に働くことが出来るのだ。

(チャールス・オバ)

◇相手の皮膚の色が白かろうが、黒かろうが、いやな気を持つものでないことを学んだ。どの国の人であろうと、神の子として見るのが大切だ。心を開いて、他の民族の人たちともいっしょに仕事することを決心した。(デユモディ・オラカ)



中島さん



星さん



以下はコースに参加している女性と在ブラジルの兼松さんが二両親宛におくられた手紙の一部です。

星玲子



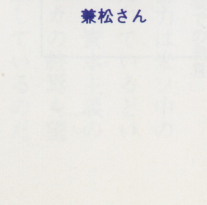
寒河江さん



市橋さん



岡本さん



兼松さん

ことだ。責任とは困難なことをすることだ。大きい仕事である必要はない。毎日神が示すことをすればよいのだ。神の意志に従って、どこでも奉仕するようにな新しい人間になって帰りたい。容易ではないが、冒険に満ちた生活になることだろう。

(デネシ・ワシ)

◇プライドは私を精神的に片わにしてしまう。失敗するといけないから責任はとるまいとする。国に山積している社会的、経済的問題を解決する為には、自分のことは考えずに神の導きに素直にならなければならない。他の人や国の必要に敏感になるには、プライドを捨てなければならない。(アルステア・マイルス)

私はこのコースに参加してまだ英会話が不十分ですが、どんな人からいろいろなことを学ぶことができる、どんな人でも変わることが出来るし、どんな人でも素晴らしい光を持っていることを学びました。パプアニューギニアの人達からは素朴さ謙虚さ、オーストラリアの人からは心を開くこと、正直になること、日本のお友だちからは忍耐、明朗など教えていただきました。

残されているチャンスを最大に活躍できるようにこれらの学んだことを自分自身のものにしてと努力しています。

寒河江千鶴
私は元気がやっています。

私の方はいかがですか、いつも心配しています。無理をせずにも心配して下さいます。父の納骨が明日ということの後藤さんの手紙で知りました。離れていて何日目にどうという供養をするか

もわかりませんが、明日は花を買ってきて飾っておこうと思います。写真がまだ届かないのが残念ですが……とにかく一番の供養は一生懸命勉強することだと思つて頑張ります。

市橋よしえ

私はこのキャンベラでいろいろな人に会い、いろいろ多くを学んでいます。私のお世話になつているランカスター夫妻は、すばらしい人たちです。まるつきりぜいたくなんかしていません。この間、マーガレットが「私たちは毎週毎週、生活費があまるということはないけど、なんとかやつているからだいじようぶよ」といつてくれました。私もオーストラリアに来て洋服一枚買つてません。

岡本真理子

人種の違いも感ずることなく友達になれたことを感謝しています。特に難かしい問題をかか

えた国の人びとと出会えたことは私にとって大きな経験でした。十七、十八才ぐらいの日本であつたら一番楽しい時期に、ある国では死を目前に政治を真険に見つめている人びとがいます。今まで政治や世界の事などまるで無関心で、自己中心であつた自分を思い知らされ、恥かしく思いました。

このMRAの人びとは皆、世界を再造しようと大きな目的に挑戦しています。ほんの小さなひとりの行動でも大きな目的につながるということを教えられました。

兼松めぐみ

本当に世界中の一人ひとりが不平等な世界を作らぬよう、道徳的に何が正しいかを見極めながら生きていかねばならないと思ひます。ここでは殆んど全員に近いと言つてよいくらい学生の多くは働らきながら学業を進めています。

すが、こうした青年たちの中でMRAのイデオロギーに逢ってから人生に興味と関心を覚え新しい国づくり、世界づくりにとりくみ始める人たちが更えています。

・サンデータイムス紙

サダト大統領の

呼びかけ

エジプトのサダト大統領のイスラエル訪問は多くの人に目を見はらせた。世紀の決定をする前の一か月間は、イスラム教のラマダンの望なる月であって、サダト氏は全ての政治の煩雑さから離れて瞑想の時を持ったという。氏はエルサレムの国会で訴えた。

「私は今日、二本の脚で大地をふんで皆さんの前に立っている。そしてこの神の土地、われわれすべての者、イスラム教徒、キリスト教徒にとつて望なるこの地で、ともに愛と正直と純潔と平和を教え命ずる神を崇め、平和を打ち樹てるため、新しい生き方を求めにきたのです。」サダト氏はまた「平和は凡ゆるの欲情、野心との闘いに勝った時に得られるものだ」と常に言っている。サンデーテレグラフのハロルド記者は「これはMRAを思わせるような事業だ」と語った。

新しいゴールめざして

十月十五日、来日したオーストラリアのジム・コーター氏夫妻を招いて憲政記念会館で集会が開会され、先頃のコーのMRA大会に出席した東芝電気高瀬常務、保坂委員長、国鉄の鬼頭誠氏、郷友連盟の上妻正康氏らからつぎつぎと報告がなされ、続いてジム・コーター氏夫妻が「新しいゴールめざして」と題して講演されたあと、パプアニューギニア大使夫人パラポさんや国鉄の滝山技師長の話などあり多彩だった。参加者は九州、関西、埼玉、水戸などから百名にのぼり盛会だった。



木内信胤氏とジム・コーター氏を交談する

ON THE TENTH ANNIVERSARY OF ASIA PLATEAU



You are invited to an International
Conference of Moral Re-Armament
Next Steps in Asia
at Asia Plateau, Panchgani, India
from 14 to 22 January 1978

「アジアの次の段階」

をともに語るMRA会議
にご招待いたします。

- 一九七八年一月十四日～二十二日まで
- インド・パンチガーニ

「岩石の中から花が咲き、果物が実を結び、食料や建物がつくられるように、ここでは人間性を土台にして問題の解決がはかられ、希望が生れ、数々の奇跡が起っている」と、かつてパンチガーニのこの会場を訪れた人が語りました。

その会場の設立十周年を迎えるに当って、当所のためにそのもてる財力、その才能、時間などすべてを与えて下さった人びとと、すべてを可能にされた創造主に心から深い感謝をささげます。

現在、世界には自由を渴望する国もあれば、パンを求める国もあります。しかし自由を渴望する国もあれば、パンを求める国もありません。自由とパンは二者択一のものでもなく、また決して贅沢な要求でもありません。人間の尊厳のためにはいづれも必要です。神のもつ能力と人のもつ力を合わせれば両者を得ることは可能です。

パンチガーニはボンベイから二四八キロ、プーナから一〇〇キロ。本会参加費は実費を申受けます。